

2019 年 6 月 2 日

日本学術会議 言語・文学委員会「科学と日本語」分科会
第 24 期・第 4 回
議事要旨

日 時：2019 年 6 月 1 日（土）14：00～16：00

場 所：東京大学駒場キャンパス I 16 号館 107 室

出席者（敬称略 五十音順）：木部暢子、工藤真由美、酒井邦嘉、鈴木泰、谷川恵一

議題

1) シンポジウムの開催について

2019 年 12 月 7、8 日に国立民族博物館で開催される「手話言語と音声言語に関するシンポジウム」と共同開催する方向で検討することとした。これは、昨年度策定した提言「音声言語ならびに手話言語の多様性の保存・活用とその他のための環境整備」の検証と普及計画に相当する今期の取組目的である。

2) マスタープランについて

木部委員より、国立歴史民族博物館（提案者 国立民族博物館長）と国立国語研究所が連携して実施する「日本文化資料の連携研究拠点の形成」を提出した旨報告があった。これは、昨年度策定した提言「音声言語ならびに手話言語の多様性の保存・活用とその他のための環境整備」の発展的計画に相当する。

3) 第一部予算執行方針と今後の本分科会の開催について

12 月に開催されるシンポジウムと同日に分科会の開催が可能であれば開催することとし、事務局に問い合わせることとした。12 月に分科会が開催できない場合、上記のように今期の取組目的を充足できることから、別の日程での開催はしないこととした。

以上

文責：工藤真由美（委員長）